

テーマ別パスファインダー



## 社会言語学



### ✦ パスファインダーとは？

Pathfinder（パスファインダー）とは、探検者／草分け／開拓者の意。レポート作成や論文作成で、何をすればいいのか、どこへ行けばいいのかわからない！そんな人のための助けになるように作成した、学問の「道しるべ」です。

作成日：2013年12月16日  
大阪大学 外国学図書館 | 箕面キャンパス |  
ラーニングコモンズ るくす | LSチーム

## I. イントロダクション

### ＜ 社会言語学 とは？

社会言語学 (sociolinguistics) とは、ことばと社会の関わりを研究する言語学の分野の一つです。言葉は社会と相互に関連しながら成り立っているものであると考え、当時主流であった言葉を自立したものとするという捉え方に対抗する形で生まれました。一言で社会言語学と言っても、その研究対象には非常に多様な切り口が存在します。その中でも特に、言葉と政治、言葉と社会、など、社会と言語の関わりを大きな枠組みでとらえるのを「マクロ社会言語学」、社会、生活などで実際に使われる言葉の変化やその法則など、詳細な枠組みで捉える研究を「ミクロ社会言語学」と区別する事があります。

関係分野：言語学、社会学、応用言語学、多文化社会、言語政策、言語権、少数言語、方言、社会方言、談話分析、会話分析、ポライトネス・ストラテジー、コミュニケーション理論

主に配架されている場所：外国学図書館 4階 分類 801.03、802 番台

## II. 社会言語学に興味あるかも!?な人へ～入門編～

ここでは、社会言語学とはどのようなものか、その全般を概説したもの、入門としてお勧めの本を紹介します。

### ＜ P.トラッドギル (1975) 『言語と社会』 岩波書店 土田滋訳

社会と言語の関わりについて、多くの事例を挙げつつ、また社会言語学の基礎的な部分を紹介している本書。出版から 40 年近く経つ現在でも、社会言語学を学びたい人にとって必読の一冊となっています。

【外国図-4 階新書 801.03||22】

### ＜ スーザン・ロメイン (1997) 『社会のなかの言語：現代社会言語学入門』 三省堂 土田滋、高橋留美訳

文化接触の中で生まれる言葉、方言、ジェンダー、ある国家の中の少数言語などを例に、社会言語学が扱う部分、分析方法などを紹介した本。言語そのものを対象とした事例が多く、マクロ社会言語学の範囲があまりカバーされていませんが、翻訳も丁寧で読みやすく、社会言語学に興味のある人が、その興味を深めるための一冊としておすすめです。【外国図-4 階開架 801.03||259】

### ＜ 真田伸治ほか (1993) 『社会言語学』 桜楓社

マクロ社会言語学の部分も含めて社会言語学の領域を網羅的に紹介した一冊。若干古い本ですが、各分野の研究史や用語も丁寧に紹介されているので、社会言語学の概要をつかんだり、社会言語学の概念や用語を改めて確認したりするのに役立ちます。【外国図-4 階開架 801.03||184】

### III. 社会、地域、世界での言葉の役割が気になる!人へ～マクロ社会言語学～

マクロ社会言語学は社会における言語の役割を扱います。ここでは言語政策、多言語主義について書かれた本を紹介します。

#### ＜ ルイ＝ジャン・カルヴェ、西山教行訳（2000）『言語政策とは何か』白水社

言語政策について、その概念がどのようなものなのか、詳しく説明している一冊。マクロ社会言語学研究におけるその他の概念、アプローチなどにも言及しており、学問全体を知る上で有用な一冊です。

【外国図-4 階新書 802||102】

#### ＜ 三浦信孝、糟谷啓介編（2000）『言語帝国主義とは何か』藤原書店

強い影響力を持つ言語が、少数言語やその話者たちを支配するという「言語帝国主義」。この概念に関する国内外の第一線の研究者たちの著作集で、「グローバル化」など日々私たちが接する言葉について、新しい視点を与えてくれます。また、具体的な言語政策などにも言及しているので、それらを知るのにも適しています。【外国図-4 階開架 802||103】

#### ＜ 真田信治、庄司博史編（2005）『事典 日本の多言語社会』岩波書店

単一民族、単一言語社会と思われがちな日本での、複数言語の使用状況＝多言語社会を取り上げています。日本というケーススタディから社会と政治における言語を考えます。社会言語学を学ぶにあたって重要な概念・用語の説明付き。【外国図-4 階開架 810||294】

### IV. 生活の中の言葉に興味がある!人へ～ミクロ社会言語学～

ミクロ社会言語学では、実際に使われている生の言葉を研究対象とします。この分野にもさまざまなアプローチが存在しますが、ここでは「談話分析」というアプローチに関する本を中心に紹介します。（パスファインダー【会話分析/エスノメソロジー】も参考にしてください。）

#### ＜ 橋内武（1999）『ディスコース - 談話が織りなす世界』くろしお出版

談話分析について、その概念、アプローチなどをわかりやすく紹介しているほか、その他のアプローチにおいても使われている用語、概念などの説明も詳しくされています。詳しい論文などを読む前に、読んでおきたい一冊。【外国図-4 階開架 801.06||105】

#### ＜ 滝浦真人（2008）『ポライトネス入門』研究社

1968年に発表されて以来、談話分析において関心の的となっている「ポライトネス理論」。一見複雑なポライトネス理論を、その概念の成り立ちから、日本語研究への応用など実例を挙げてわかりやすく説明しています。【外国図-4 階開架 801.03||442】

## ✧ [パスファインダーの凡例]

✧ 図書情報は以下の順に表記しています。(主に論文の参考文献に使われている書式です。)  
著者名 (出版年) 『本の名前』 出版社名, 翻訳者名 (あれば)

✧ 説明の最後に、【 】で貸し出し可能な図書館と配架場所、請求記号を記しました。

総合図 → 総合図書館 (豊中キャンパス)

生命図 → 生命科学図書館 (吹田キャンパス)

理工学図 → 理工学図書館 (吹田キャンパス)

人図 → 人間科学研究科図書室 (吹田キャンパス)

外国図 → 外国学図書館 (箕面キャンパス)

外国図-雑誌 → 直近1~2年に出版されたものは3階雑誌コーナー、バックナンバーは1階書庫

電 → 電子ジャーナル、電子ブック

※雑誌、電子ジャーナルは、すべての巻号が利用できるとは限りません。

✧ 検索を容易にするために、ISBN (各図書固有の識別番号) や ISSN (各雑誌固有の識別番号) を記している場合もあります。

✧ 外国学図書館を中心に紹介していますので、記載している場所以外でも貸し出し可能な場合があります。図書館各階にある検索端末で確認するか、カウンター/LS デスクまでお尋ねください。